

2008/01/31

## トヨタ自動車、安心・快適な車室内環境を追求する 「抗ダニアレルゲン加工シート表皮」を開発

トヨタ自動車(株)(以下、トヨタ)は、乗員の快適さを追求し、アレルギーの原因となる可能性があるダニアレルゲンの活動を抑制する、抗ダニアレルゲン加工をシート表皮に施した自動車用シートを世界で初めて\*1 開発した。この技術は、近々発売予定の新型車に採用する。

アレルギーの原因となる可能性があるダニアレルゲンは、車外から衣類に付着して車室内に持ち込まれ、シート表皮に最も多く存在している\*2。

「抗ダニアレルゲン加工シート表皮」は、シートの風合いや色の变化に影響を及ぼすことなく、シート表皮に塗布した抗アレルギー剤がダニアレルゲンを包み込み、シートに付着しているダニアレルゲンの活動を抑制する。これにより、抗アレルギー剤を塗布していないシート表皮に比べ、ダニアレルゲンの活動を約98%\*3抑えるとともに、抑制効果を長期間持続することを可能としている。

トヨタでは、モノづくり、クルマづくりを通して社会に貢献することを目指し、地球環境・安全への対応はもとより、より快適で使いやすいクルマづくりに取り組んできた。

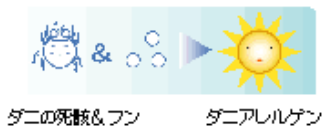
車室内環境においては、天然シルクから抽出したタンパク質「セリシン」を繊維に定着させるフレッシュ加工を施した肌にやさしいシート表皮、花粉を素早く減少させる花粉除去モードや車室内に浮遊するカビ菌の活動を抑制するプラズマクラスター®\*4を採用したオートエアコン、車室内の酸素濃度低下を抑える世界初\*5の酸素濃度コンディショナーの採用などが取り組みの一例である。

今後もトヨタは、さらに快適な車室内環境の実現を追求するとともに、人へのやさしさ、使いやすさを追求した技術開発に積極的に取り組んでいく。

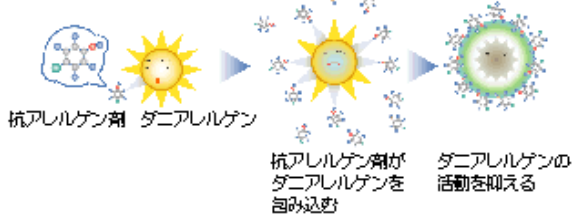
- \*1：2008年1月時点。トヨタ調べ    \*2：トヨタ調べ    \*3：社内測定値  
\*4：プラズマクラスターはシャープ株式会社の商標    \*5：2006年8月時点。トヨタ調べ

### 【ダニアレルゲンの抑制イメージ】

#### <ダニアレルゲンの発生>



#### <ダニアレルゲンの活動を抑制>



#### <シート表皮への抗アレルギー剤の塗布>



以上